

家庭学習の手引き

5・6年

予定を立て、自分で学習をすすめましょう。



学習時間のめやす

60分

1. 音読

- 句読点に気をつけて、気持ちをこめて読みましょう。
- 内容を考えながら読みましょう。
- 詩や俳句・短歌は暗唱したり、朗読したりしましょう。
- おうちの人にきいてもらい、音読カードにしろしをつけてもらいましょう。

2. 漢字練習

- 手本を参考に正しい筆順で字の形に気をつけて書きましょう。
- 漢字の意味や使い方を考えながら正しくていねいに書きましょう。
- ひととおり練習したら、漢字を覚えているかたしかめながら書いてみましょう。

3. 算数

- 計算はくりかえし練習し、速く正確にできるようにしましょう。
- 筆算は位をそろえ、正しい手順で計算しましょう。
- 文章問題は声に出して問題を読んだり、簡単な図をかいたりして考えましょう。
- まちがえた問題は、必ずやり直す習慣をつけましょう。

4. 日記・作文

- 自分の気持ちや意見を整理して、書きましょう。
- 習った漢字はきちんと使いましょう。
- 題名を工夫して書きましょう。
- 「はじめ」「なか」「おわり」の構成を考えて書きましょう。
- 社会の出来事に対して自分の意見をまとめて書いてみましょう。

5. 自学（社会・理科・読書など）

- 国語辞典や漢字辞典を使い、わからない言葉の意味や漢字の使い方を調べましょう。
- 勉強したことについて資料やインターネットなどを使ってくわしく調べまとめましょう。
- 苦手なところやまちがったところを何度もやってみましょう。
- いろいろな種類の本を読みましょう。長い物語の本も読みましょう。

学習するまえに

- テレビやゲームは消しましたか。
- つくえのまわりは整理整頓しましたか。
- 連絡帳で、課題をたしかめましたか。
- 時間のめやすをたてましたか。
- 正しい姿勢・鉛筆の持ち方で学習をはじめましょう。

保護者のかたへ

5, 6年生は、今までの学習をもとにした発展的な内容に自分の力で考え取り組む時期です。学校で習う内容の予習・復習に加え、苦手な内容を取り立てて復習すること、反復や継続が大事な学習（漢字・計算）に取り組むことなどが求められてきます。

自分で学習の計画を立てて進んで学習し、自主学習ノートなどを使って発展的な課題に取り組むことも必要になってきます。

自主学習の内容や興味関心が広がるよう、共に考え励ましてください。